

2000年1月1日から2020年12月31日の間に 当科において角膜内皮減少症の診断を受けられた20歳以上の方へ

「角膜内皮減少症の実態解明」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学眼科学1・講師・藤本 久貴

1. 研究の概要

角膜内皮減少症は角膜移植の原因として一番多いものです。その原因は Fuchs 角膜内皮ジストロフィ、後部多型性ジストロフィ、レーザー虹彩切開術など複数ありますが、その詳細は地域によって異なるといわれていますがよくわかりません。その実態を明らかにする研究です。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2000年1月1日から2020年12月31日の間に川崎医科大学附属病院眼科において角膜内皮減少症の診断を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2022年12月31日

3) 研究方法

2000年1月1日から2020年12月31日の間に川崎医科大学附属病院眼科において角膜内皮減少症の診断を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに角膜内皮密度、角膜浮腫程度のデータを選び、視力、眼圧、年齢、性別に関する分析を行います。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、角膜内皮密度、角膜浮腫程度、視力、眼圧

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学眼科学1内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画

の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年6月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学眼科学 1

氏名：藤本 久貴

電話：086-462-1111 内線 44558（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-464-1565

E-mail：fujimoto-h@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。